

避難訓練

先日の日曜参観、浜地区避難訓練にご参加いただき、ありがとうございました。本年度も6年生と1年生をペアにしたことで、信号のある横断歩道はかけ足で避難しましたが、1年生も遅れることなく避難することができました。6年生が1年生を気づかう姿をほほえましく思いました。

本年度、公益財団法人 日本教育公務員弘済会より防災教育に対する助成金をいただき、防災授業に使うための非常持ち出し袋やヘルメット、ライフジャケットなどを購入しました。子どもたちの防災に関する知識と意識を高めるために、参観いただいた防災授業の内容についてご家庭でもお話していただけますよう、よろしく申し上げます。

台風21号は、岸和田市にも大きな爪痕を残しました。今でも遠回りして通学するなど、不便な生活を送っている子どもたちがいます。災害の被害が少ないといわれている泉南地域ですが、予測もつかない自然災害が次々と起こっている今日このごろ……。先日、地域の方から昭和34年にこのあたりに大きな被害を及ぼした伊勢湾台風のお話を伺いました。この浜地区で浸水したり家が流されたりしたそうです。

『災害は忘れたころにやってくる』このことわざを心に留めながら、過去の災害被害を風化させることなく、子どもたちに伝え、考えさせていきます。

心に太陽を持って

山本有二

心に太陽を持って。

あらしがふじつ、

ふぶきがーじつ、

天には黒くも、

地には争いが絶えなかるごと、

いつも、心に太陽を持って。

くちびるに歌を持って、

軽く、ほがらかに。

自分のつとめ、

自分のくらし、

よしや苦勞が絶えなかるごと、

いつも、くちびるに歌を持って。

苦しんでいる人、

なやんでいる人には、

こころ、はげましてやるごと。

勇気を失うな。

くちびるに歌を持って。心に太陽を持って。」



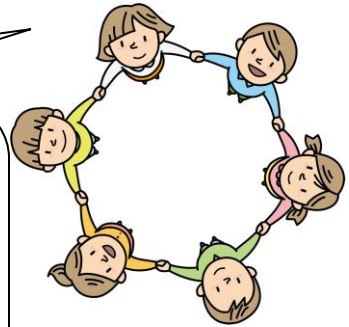
チャレンジ、始まりました！

1学期、3、4年生に「ことわざチャレンジ」に挑戦してもらいました。「はまっこ」の「つ」つぎつぎチャレンジがたくさんみられ、名人、達人がたくさん誕生しました。

そこで、次は「詩の暗唱にチャレンジ」です。今までに校長室だよりに載せた15編の詩を教室に掲示してもらっています。それに加えて、左下の「心に太陽を持て」でもいいので好きな詩を選んで暗唱してください。今回は1年生から6年生まで全員に参加資格があります。少しむずかしいかもしれませんが、たくさんチャレンジを楽しみにしています。

和の心

日本の文化では、「和」を重んじます。周りとそろえる、調和していくことを大切にしてきました。しかし、グローバルな視点をとられている今、自分の考えをきちんと伝えることの必要性も言われています。欧米の文化では、ストレートに伝えるだけですと伝わることも、「和」を尊ぶ日本では伝え方も大切になります。



むづかしいことを やさしく

やさしいことを ふかく

ふかいことを やさしく

井上ひさし